

千葉県がん対策審議会	参考資料
令和3年11月16日(火)	1-1

# 千葉県のがん対策に関するアンケート結果 (病院を利用するがん患者向け)

**【未定稿】**

千葉県健康福祉部健康づくり支援課

令和3年〇月

## 1 調査概要

### (1) 目的

第3期千葉県がん対策推進計画（平成30年度～令和5年度）の中間評価に当たり、がん患者の現状への認識及び将来への要望を把握する。

### (2) 調査対象

千葉県内のがん診療連携拠点病院等及び千葉県がん診療連携協力病院に通院又は入院するがん患者。

## 2 調査方法

無記名式のアンケート調査

各病院が選定した患者へ対面での配布又は郵送、院内に配置し、協力を依頼した。

回答は、ちば電子申請システムによるオンライン回答又は返信用封筒により、千葉県健康福祉部健康づくり支援課が収集した。

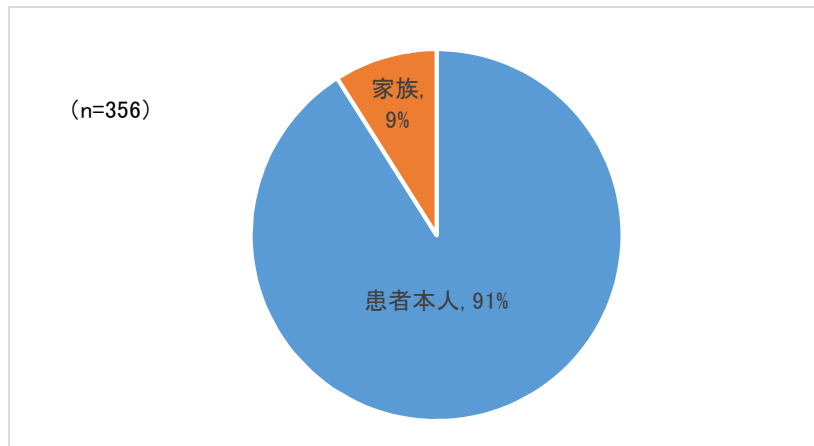
## 3 調査回収結果

配布数 922

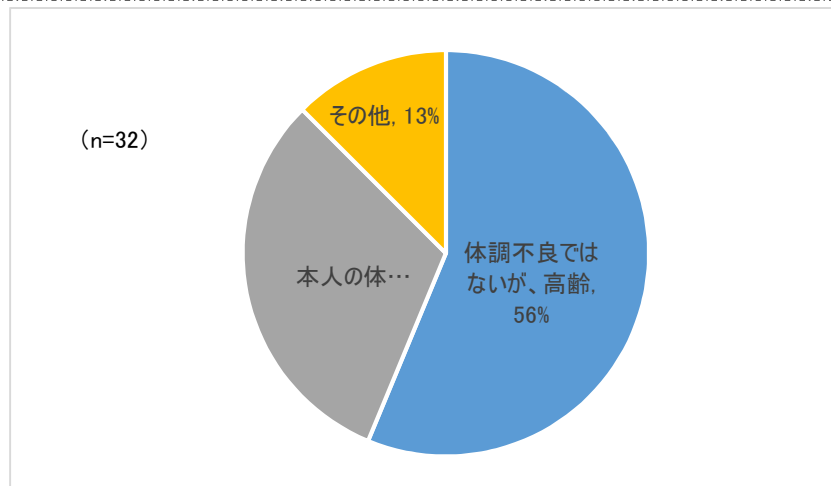
有効回答数 356 (38.6%)

うち、オンライン回答数：27、郵送回答数：329

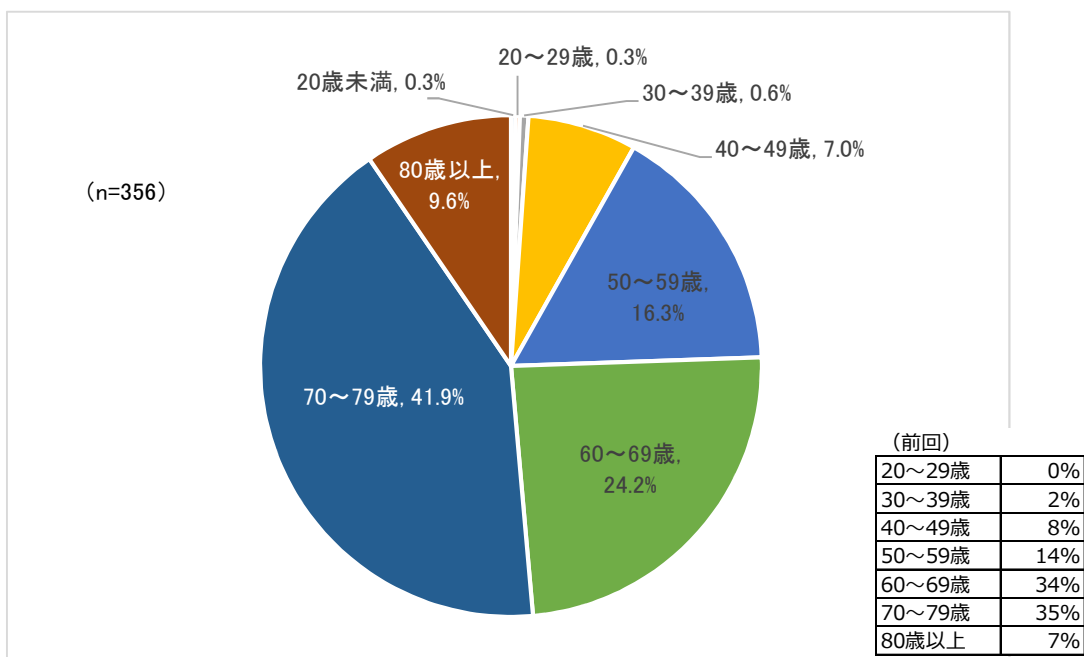
問 1-1 このアンケートの 記入者はどなたですか。



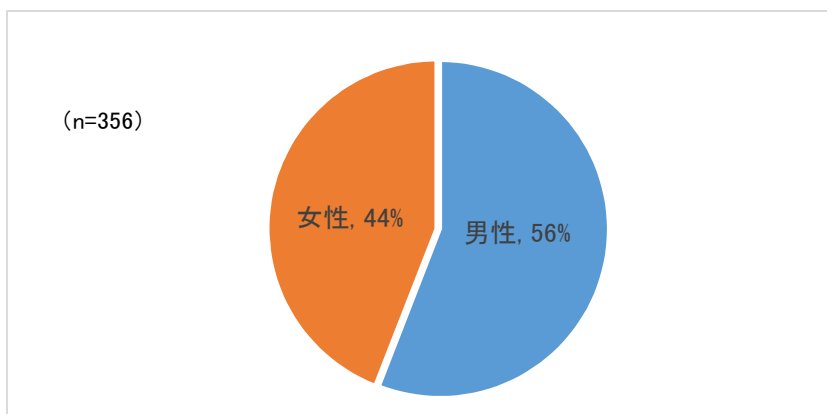
問 1-2 ご家族が回答される理由を教えてください。（問 1-1 で「家族」と答えた方）



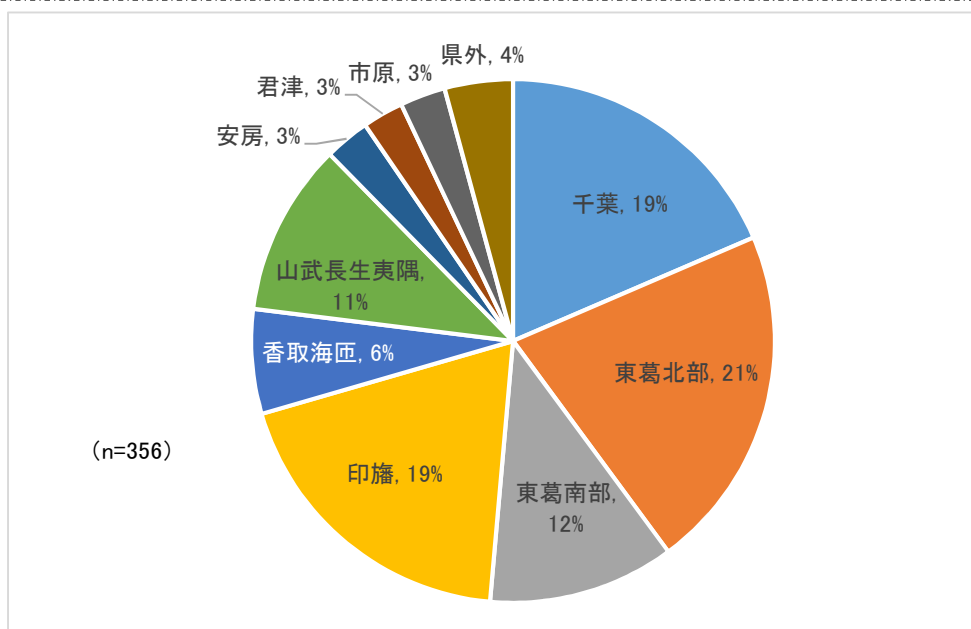
問 2 患者さんの現在の年齢を教えてください。



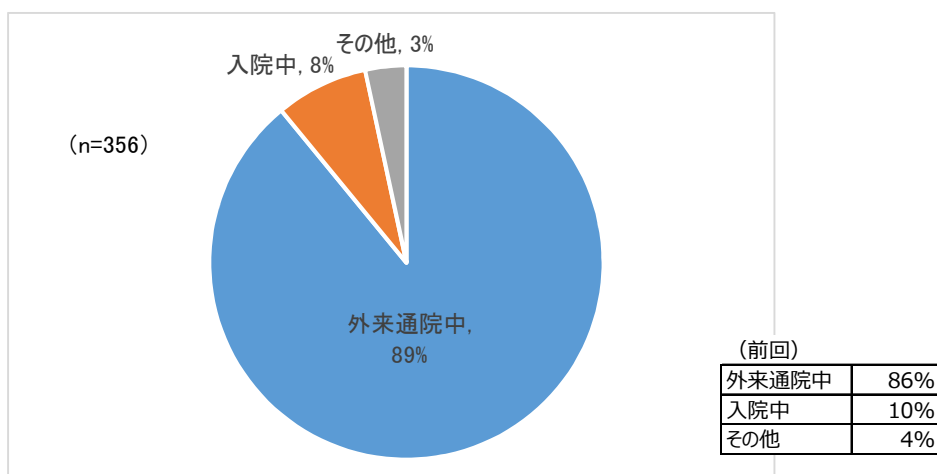
問3 患者さんの性別について。



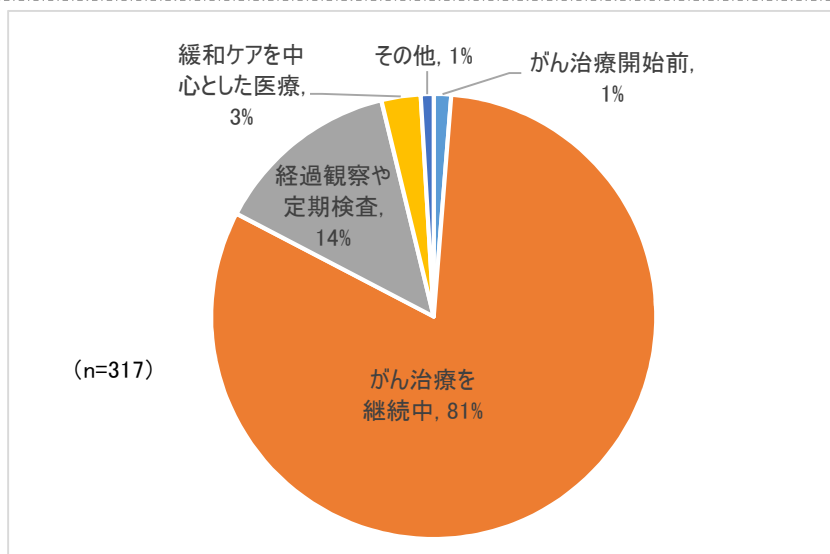
問4 現在の居住地について。



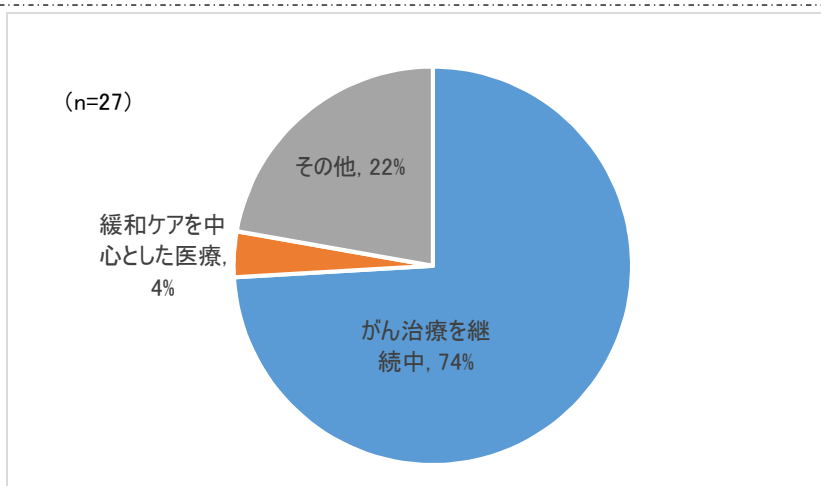
問5-1 アンケートを受け取った医療機関のかかり方について教えてください。



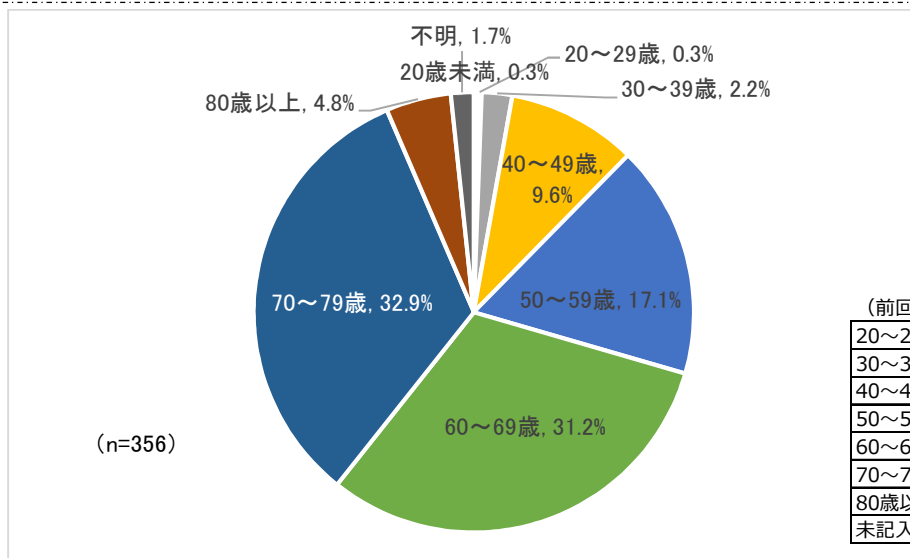
問5-2 現在のがん治療はどのような状況ですか。（問5-1で「外来通院中」と答えた方）



問5-3 現在のがん治療はどのような状況ですか。（問5-1で「入院中」と答えた方）



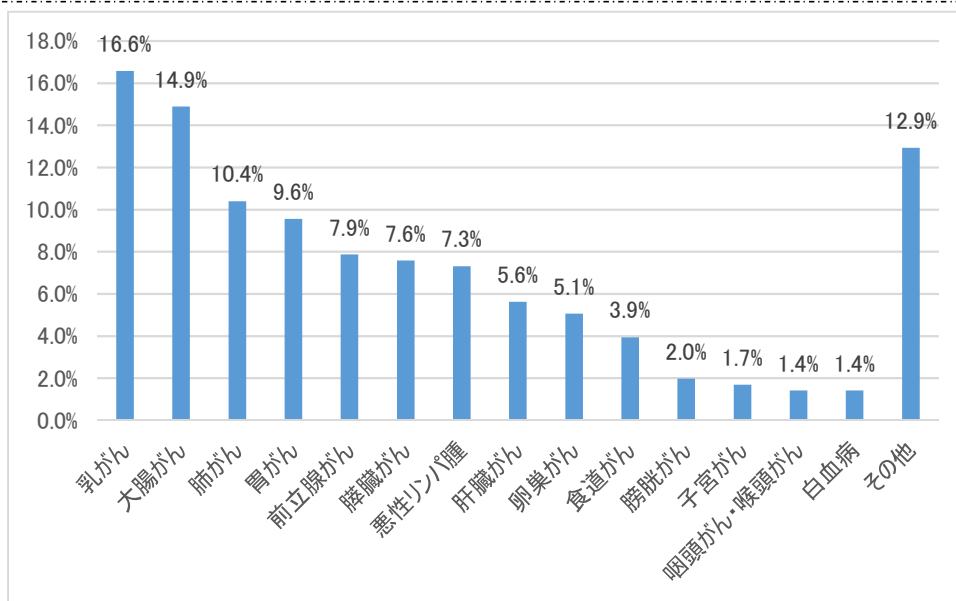
問6 最初のがんと診断された年齢を教えてください。



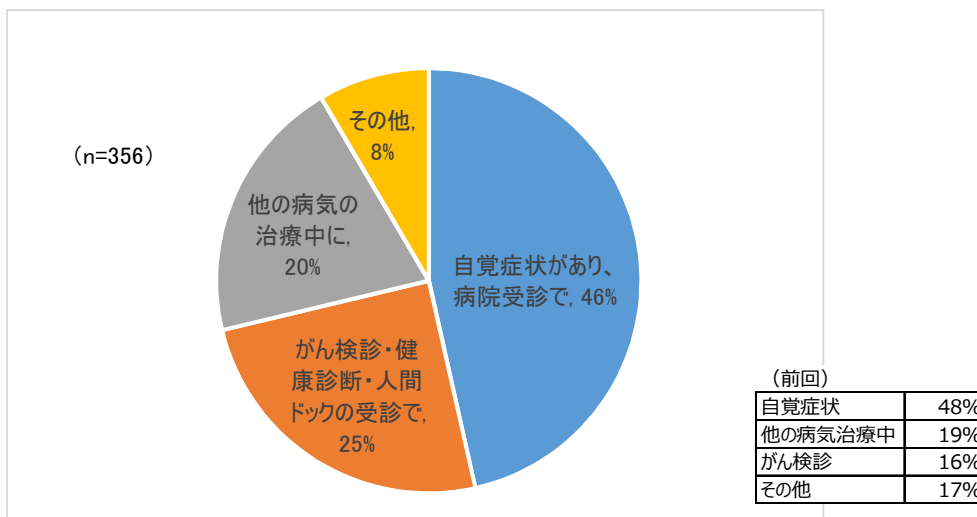
(前回)

20～29歳	1%
30～39歳	3%
40～49歳	10%
50～59歳	18%
60～69歳	37%
70～79歳	24%
80歳以上	3%
未記入	4%

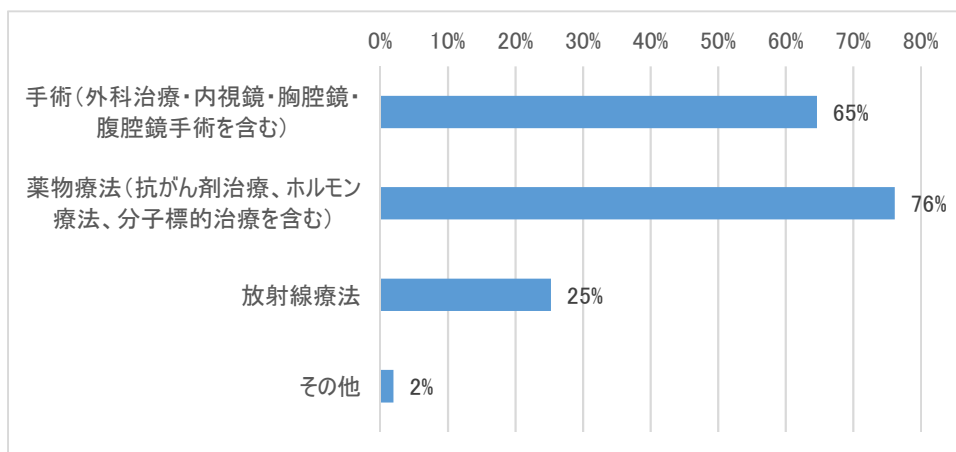
問7 最初に診断されたがんの種類について、教えてください（再発、転移を除く）。



問8 最初に診断されたがんは、どのような状況で発見されましたか。

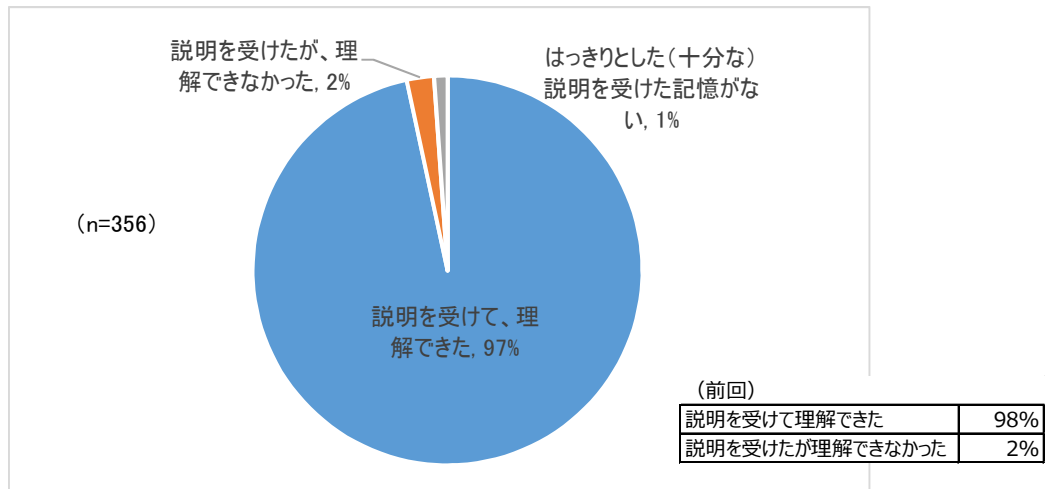


問9 これまでに受けた治療について、教えてください。（いくつでも）

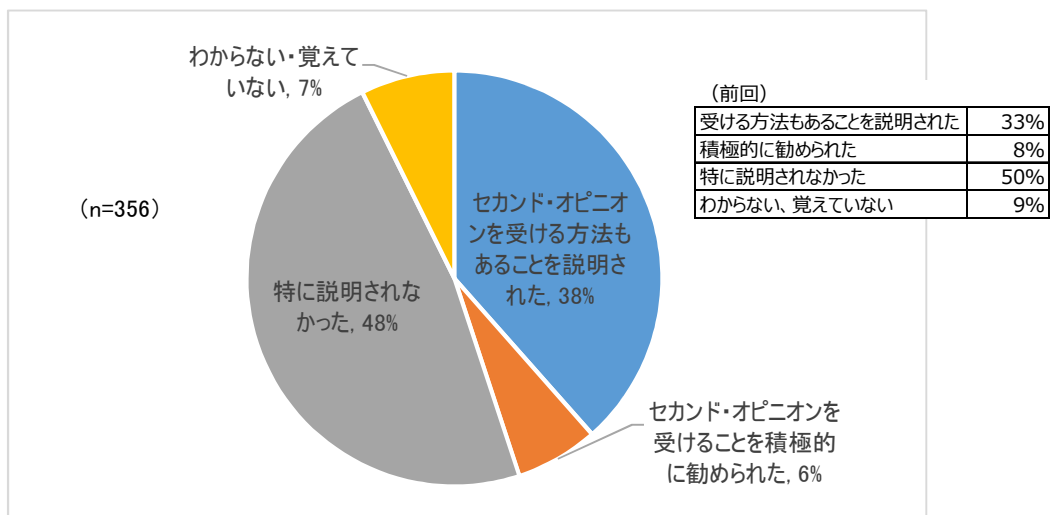


● 医療提供体制について

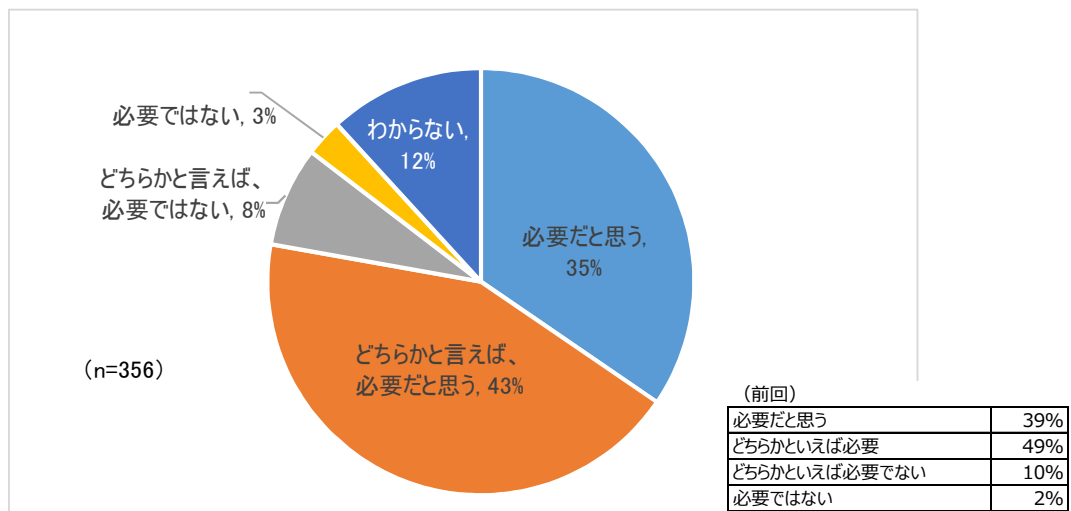
問10 がん治療を受けるにあたって、医療関係者から病気や治療について説明を受けましたか。



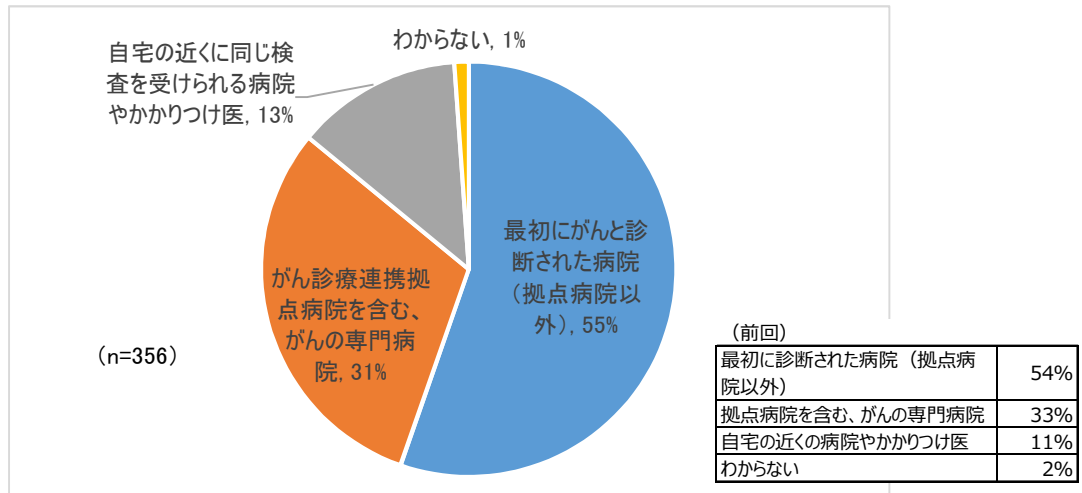
問11 あなたは、がん治療にあたって「セカンド・オピニオン」について、どのように説明されましたか。



問12 あなたは、がん治療にあたって「セカンド・オピニオン」が必要だと思いますか。

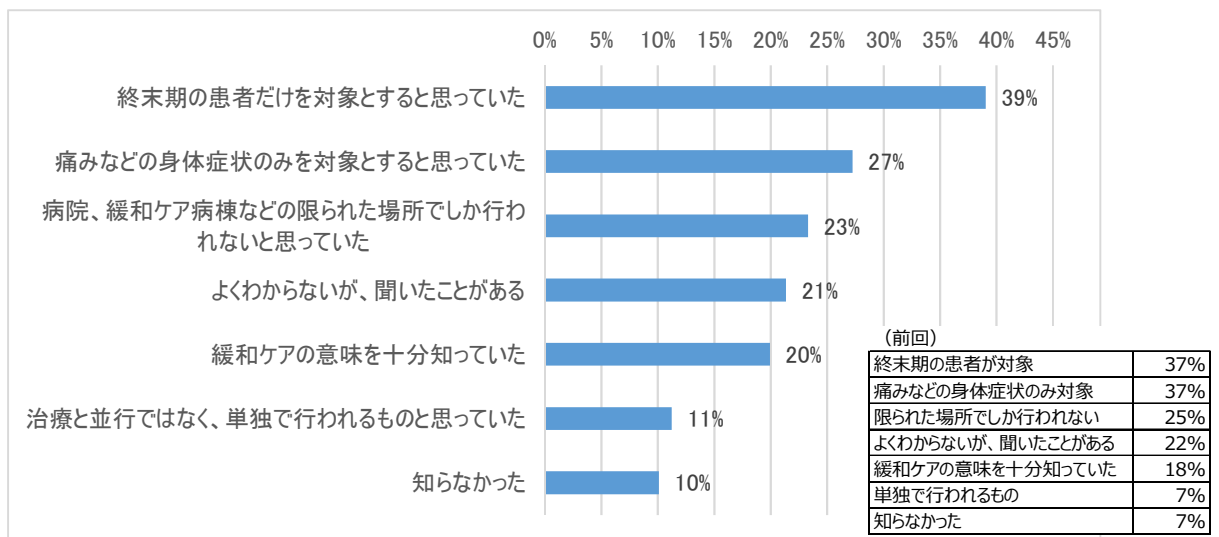


問 13 治療が一段落して定期的な検査のための通院となった時、どこにかかりたいですか。

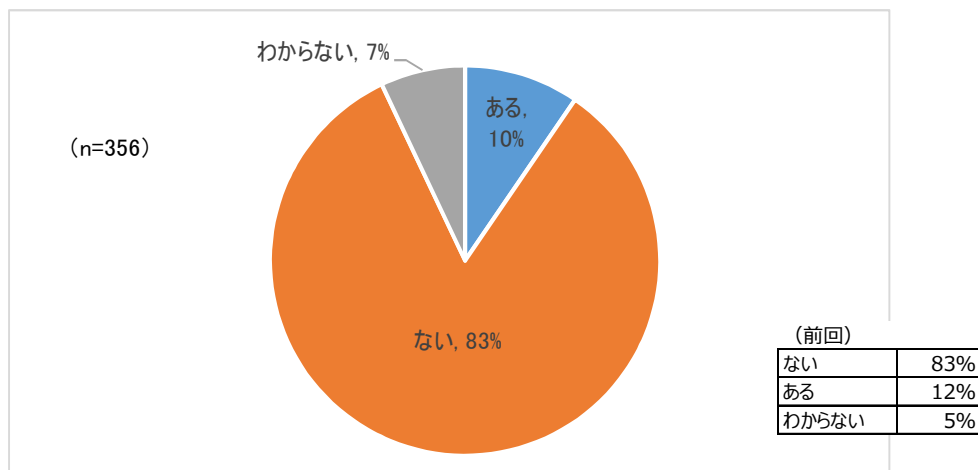


● 緩和ケアについて

問 14 緩和ケアについて、あなたにとって当てはまるものはどれですか。

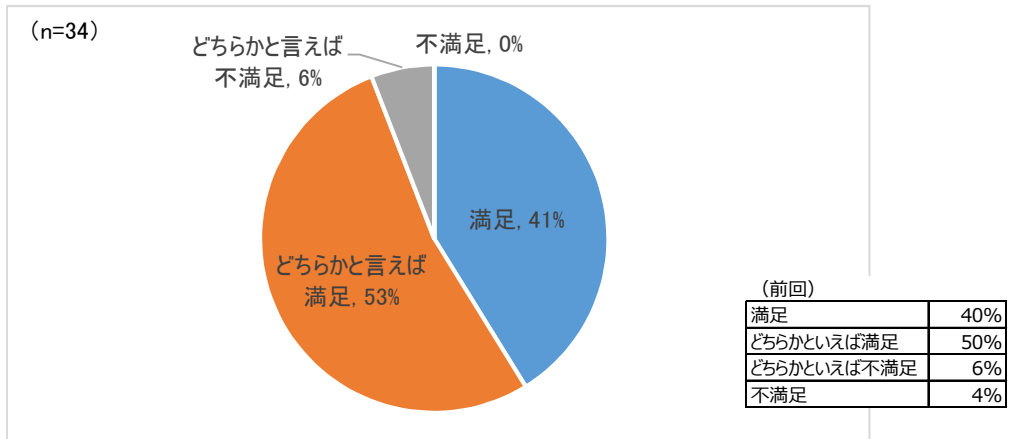


問 15-1 あなた (患者さん) は、がんの緩和ケアを受けたことがありますか。



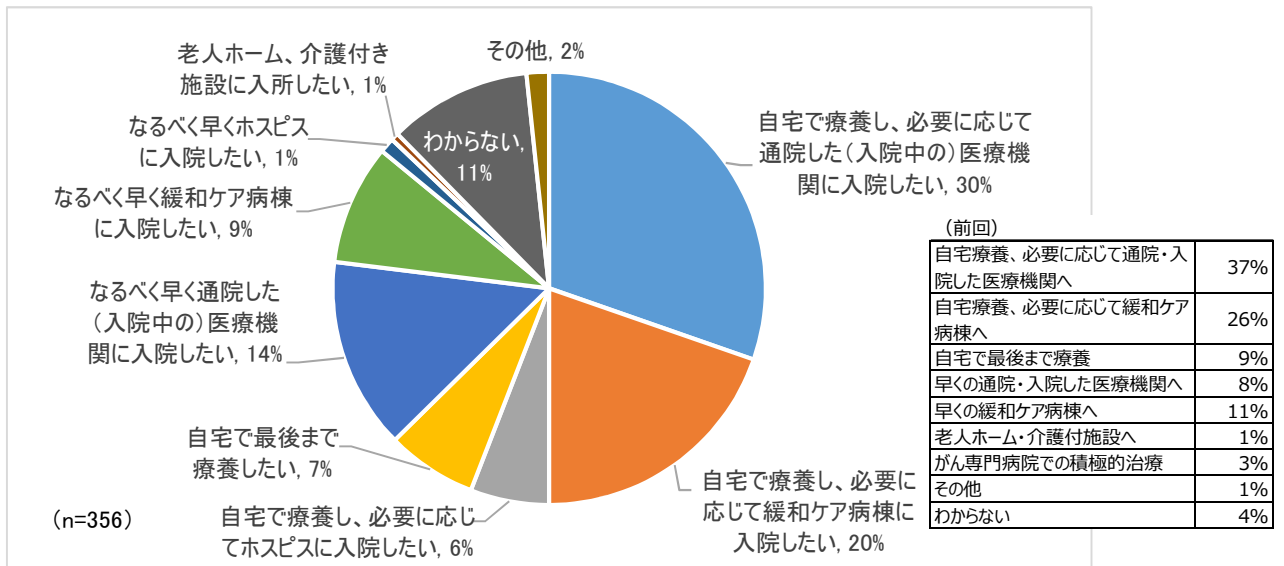


問 15-2 提供された緩和ケアは満足のものですか。(問 15-1 で「ある」と答えた方)

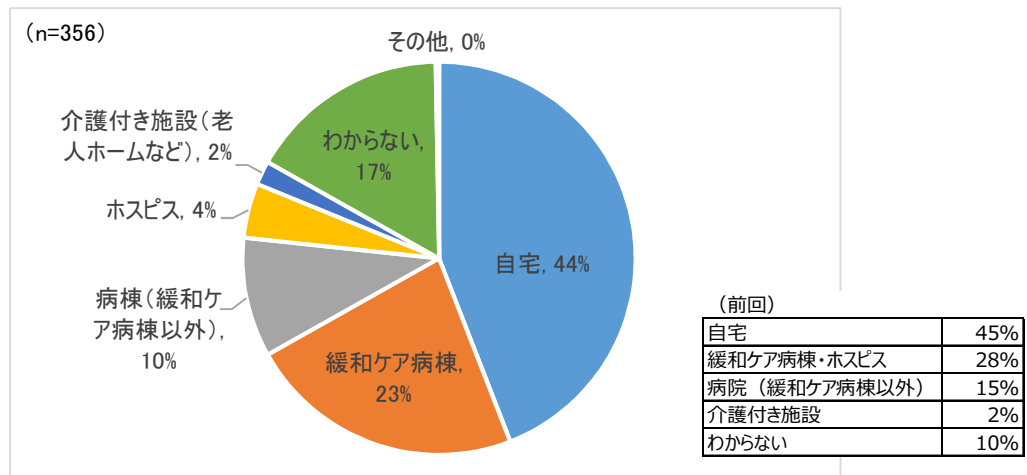


● 在宅医療について

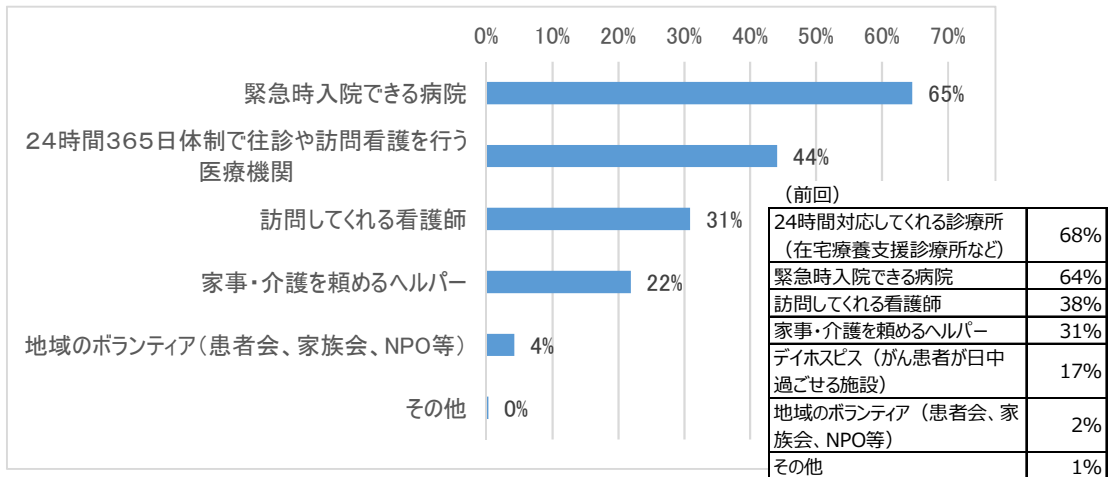
問 16 がんに対する積極的な治療を行わず症状緩和に専念する場合、どこで過ごしたいと思いますか。



問 17 不快な症状や痛みが自宅（施設）においても緩和できるとしたら、どこで最期を迎えたいと思いますか。

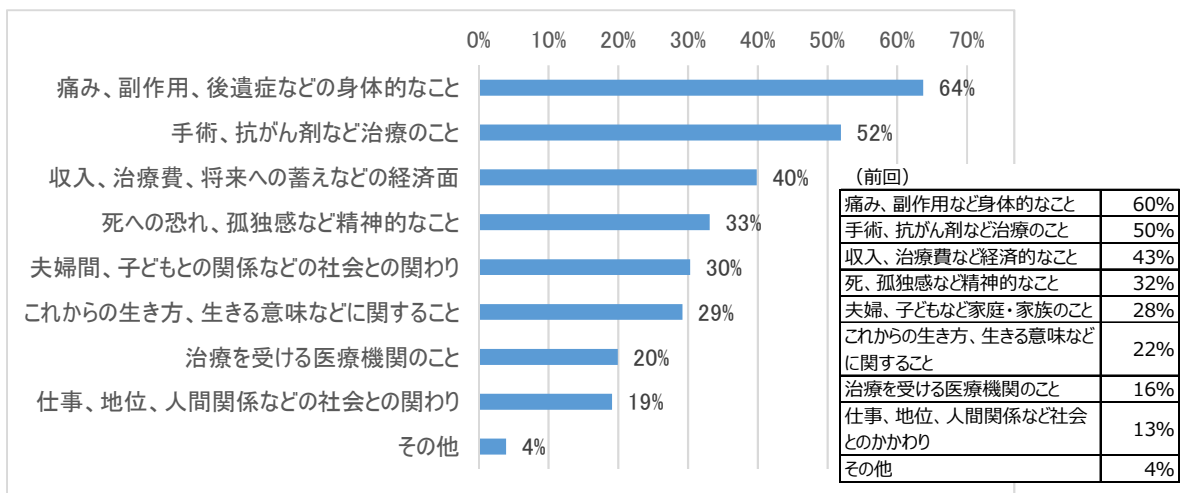


問 18 ご自宅で過ごすことを想定した場合、どのようなサービスの充実を望みますか。

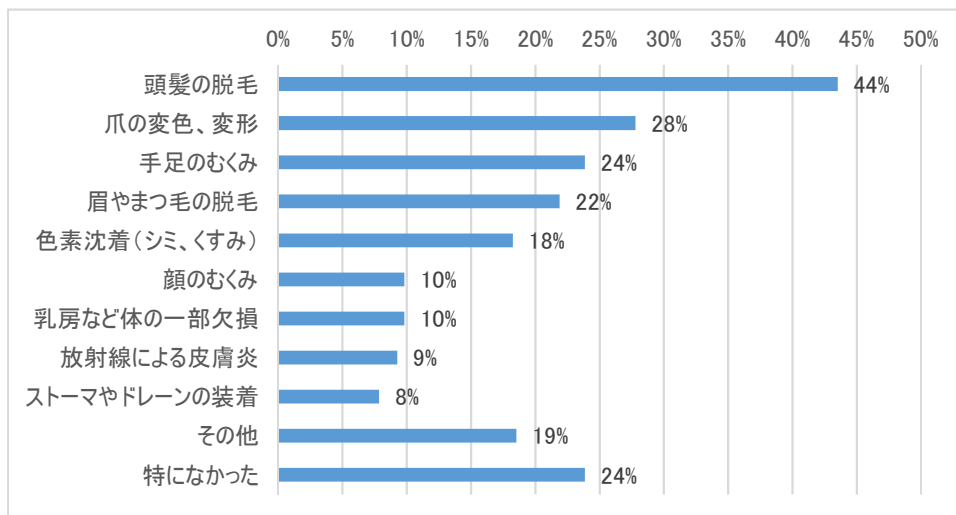


● 相談支援・情報提供について

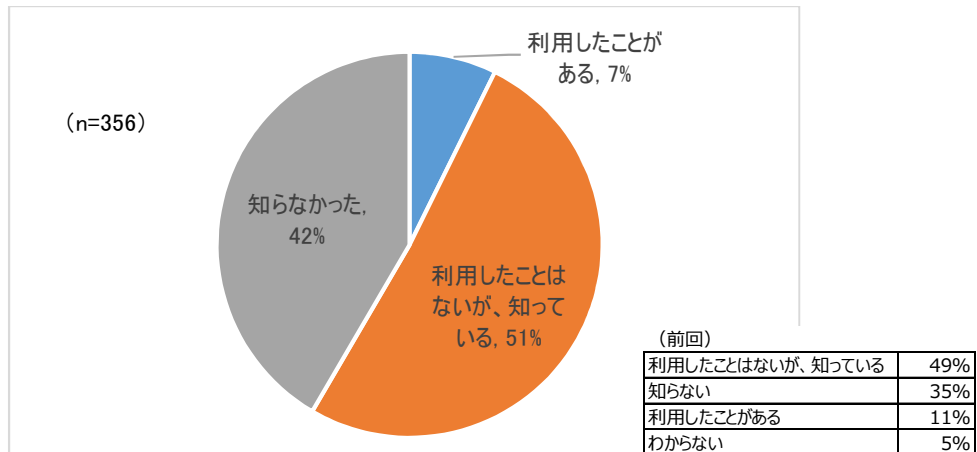
問 19 がんの診断や治療を通して、どのようなことについて悩みましたか。



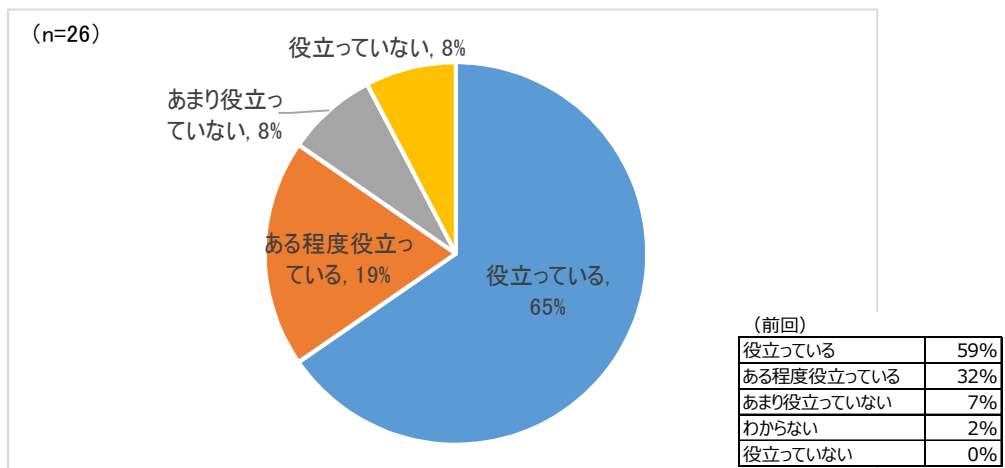
問 20 がんの治療の副作用として経験した外見の変化として、どのようなことについて悩みましたか。



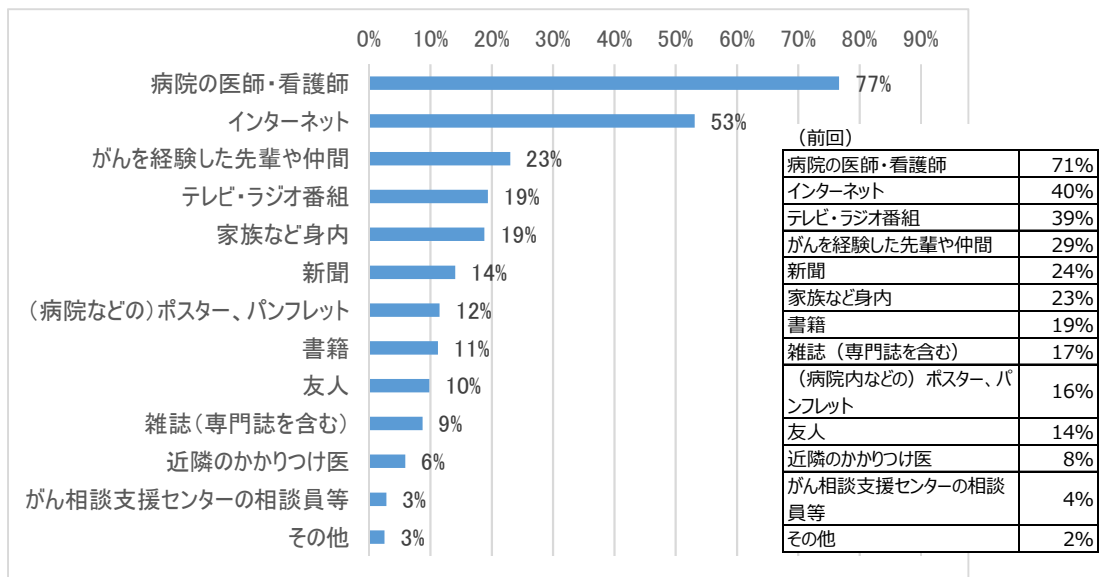
問 21-1 がん診療連携拠点病院等に設置されているがん相談支援センターを利用したことはありますか。



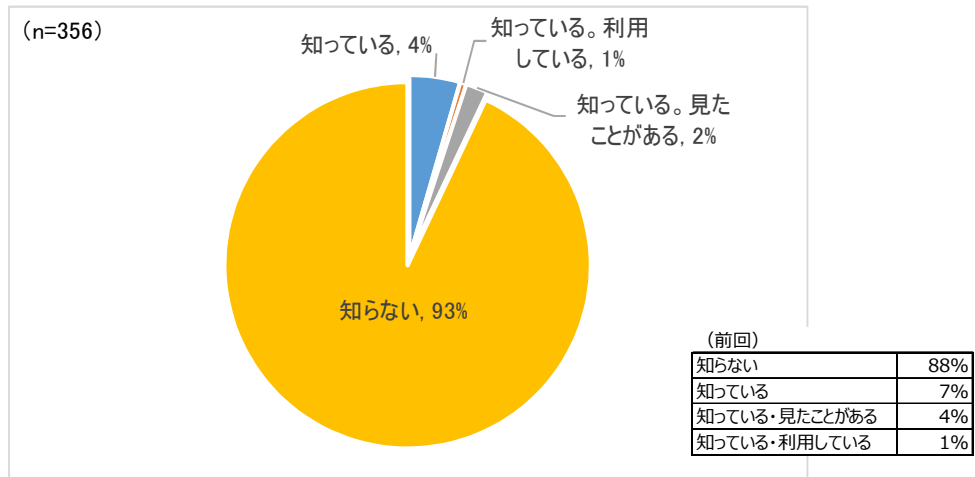
問 21-2 「がん相談支援センター」の取組が患者への相談支援・情報提供に役立っていると思いますか。(問 21-1 で「利用したことがある」と答えた方。)



問 22 あなたは、どのようなところからがんに関する情報を得ていますか。

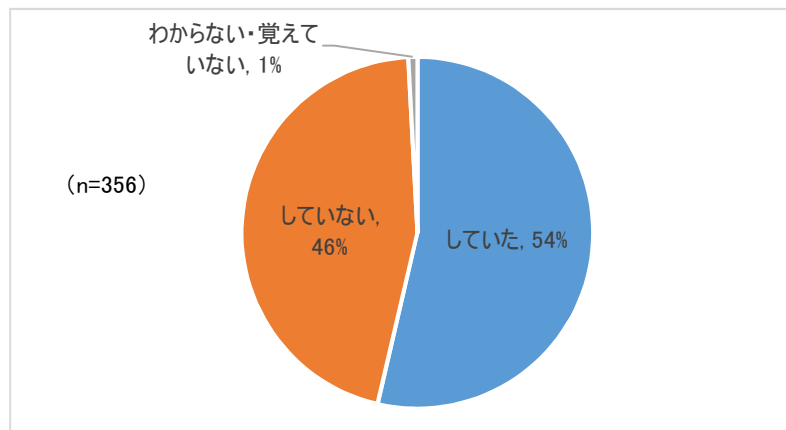


問23 あなたは、がん専用サイト 千葉県がん情報「ちばがんナビ」を知っていますか。

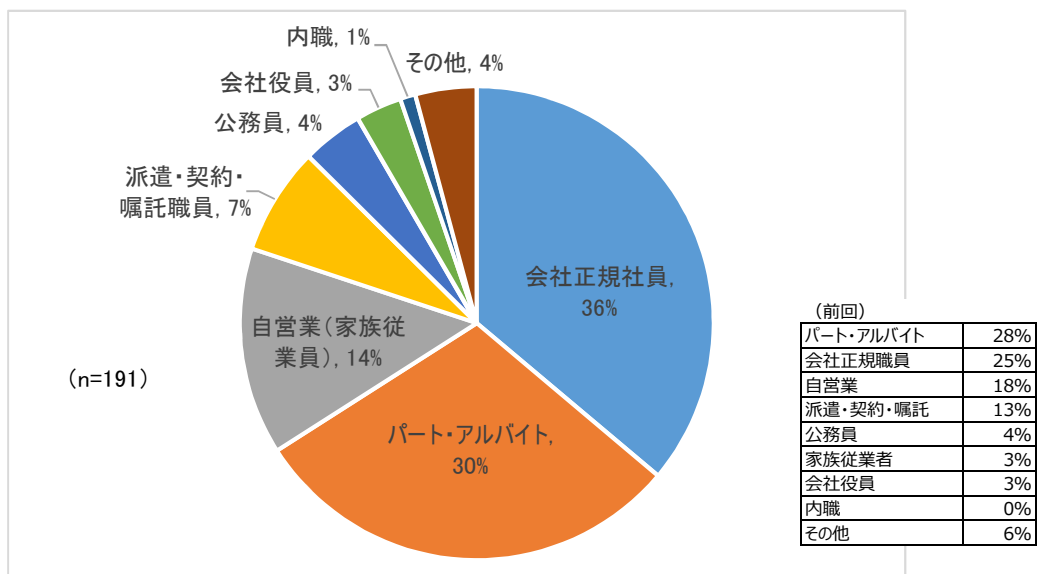


● 就労について

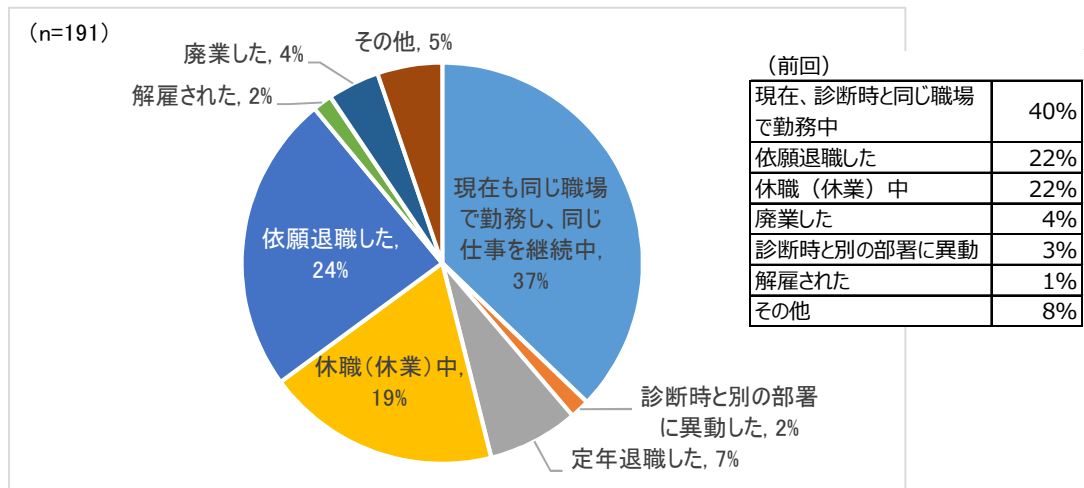
問24 最初にごんと診断された時に、収入のある仕事をしていましたか。



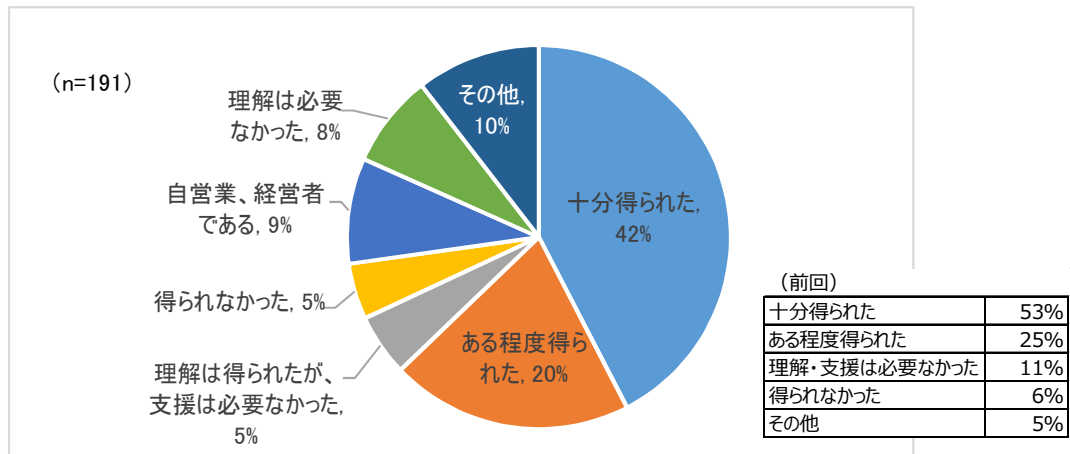
問25 あなたの診断時の職業は何でしたか。(問24で「していた」と答えた方)



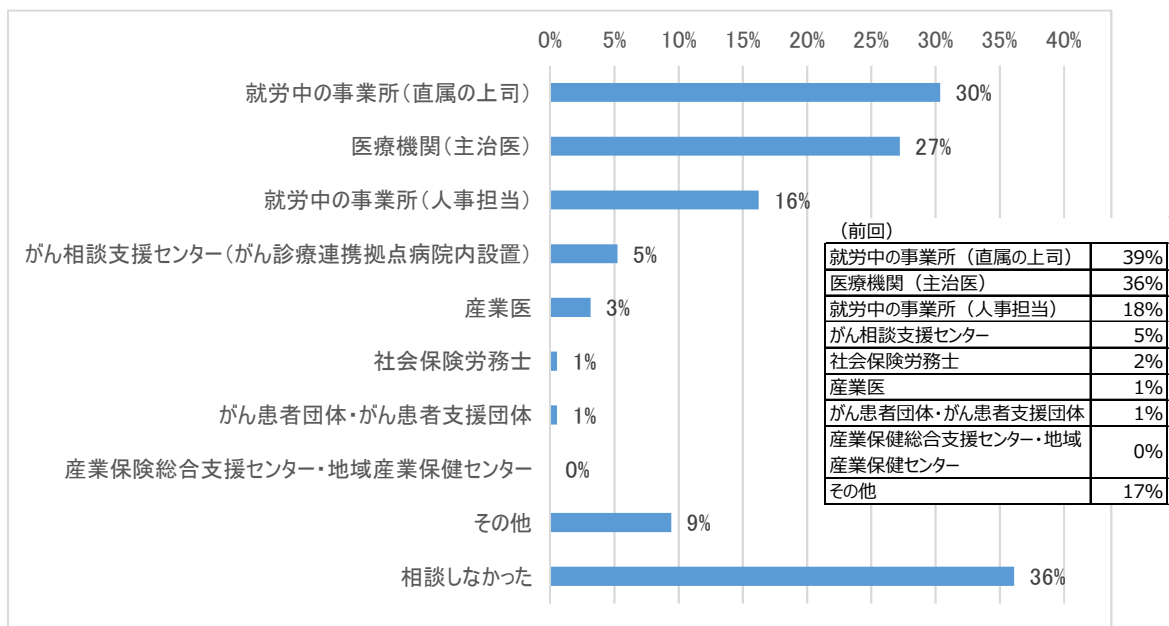
問26 現在、診断時の職場との関係はどのようになっていますか。(問24で「はい」と答えた方)



問27 診断時の仕事を継続することに対する事業主の理解・支援は得られましたか。

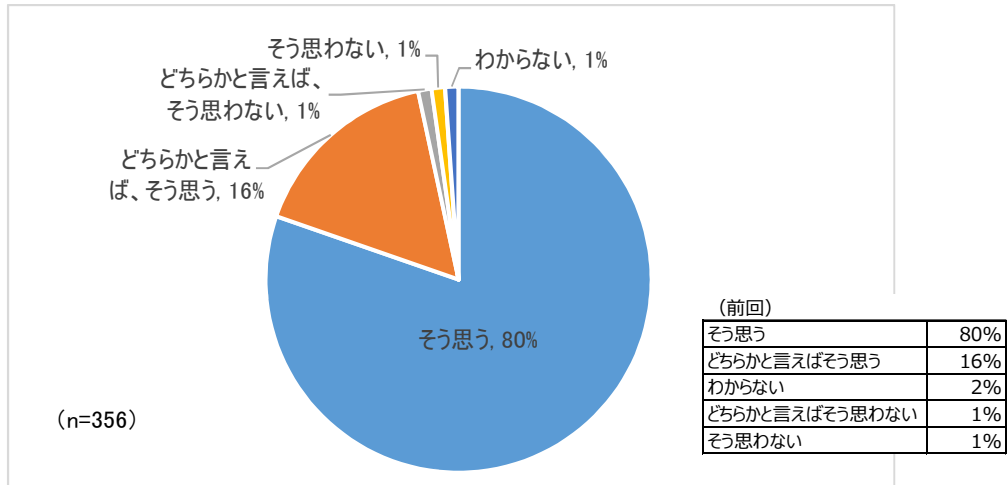


問28 治療と仕事の両立など、就労に関してどこに相談しましたか。

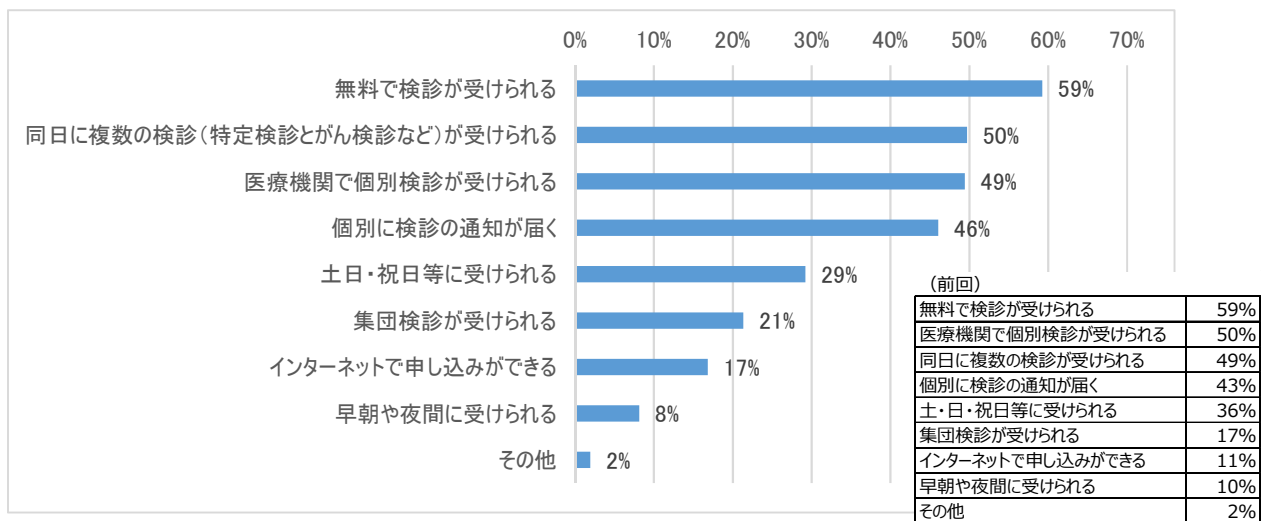


● がん検診について

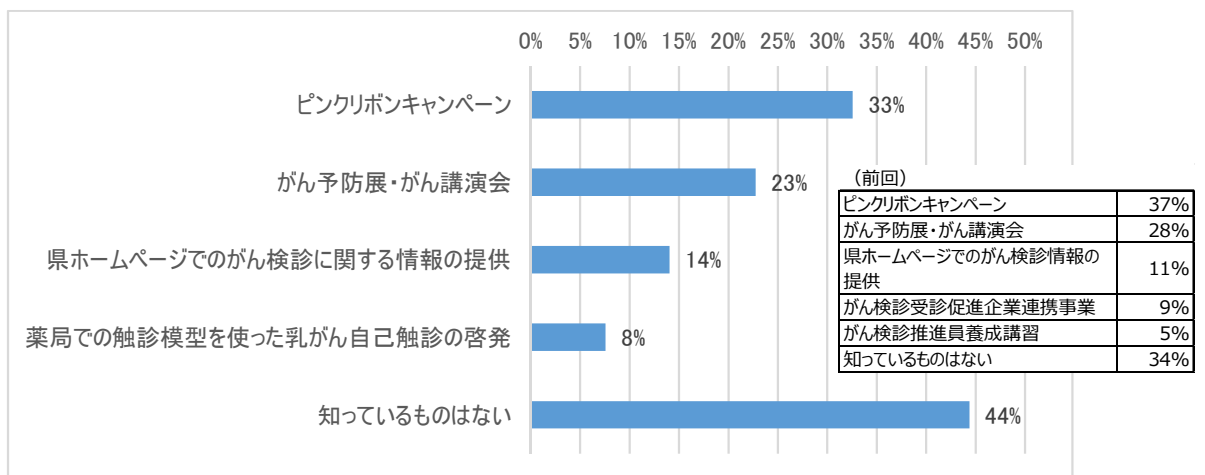
問 29 がん検診は、がんの早期発見、早期治療につながる重要な検査だと思いますか。



問 30 がん検診を受診する際、どのようなサービスやシステムがあれば受けやすいですか。

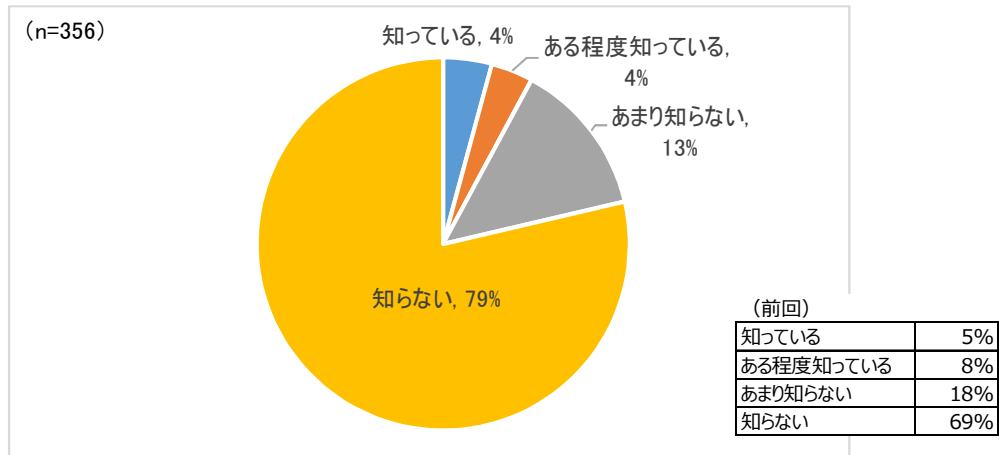


問 31 県で実施しているがん検診の受診率向上のための取組のうち、あなたが知っているものはどれですか。

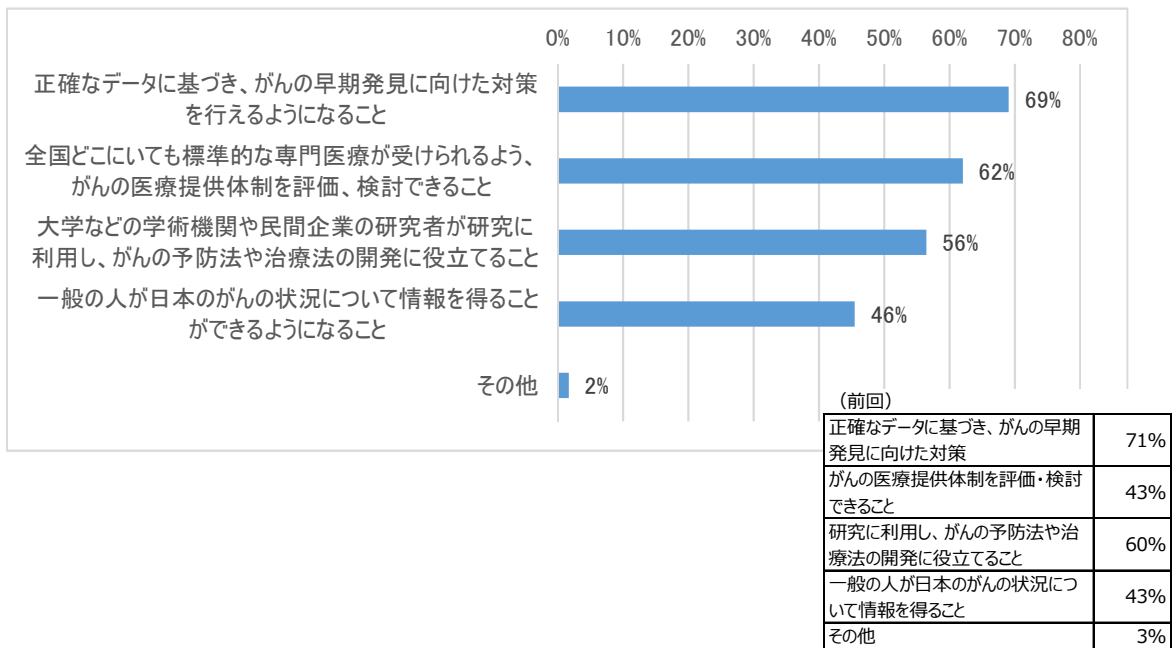


● がん登録について

問 32-1 日本でがんと診断されたすべての人のデータを、国で1つにまとめて集計・分析・管理する「全国がん登録事業」が平成28年1月から始まったことを知っていますか。

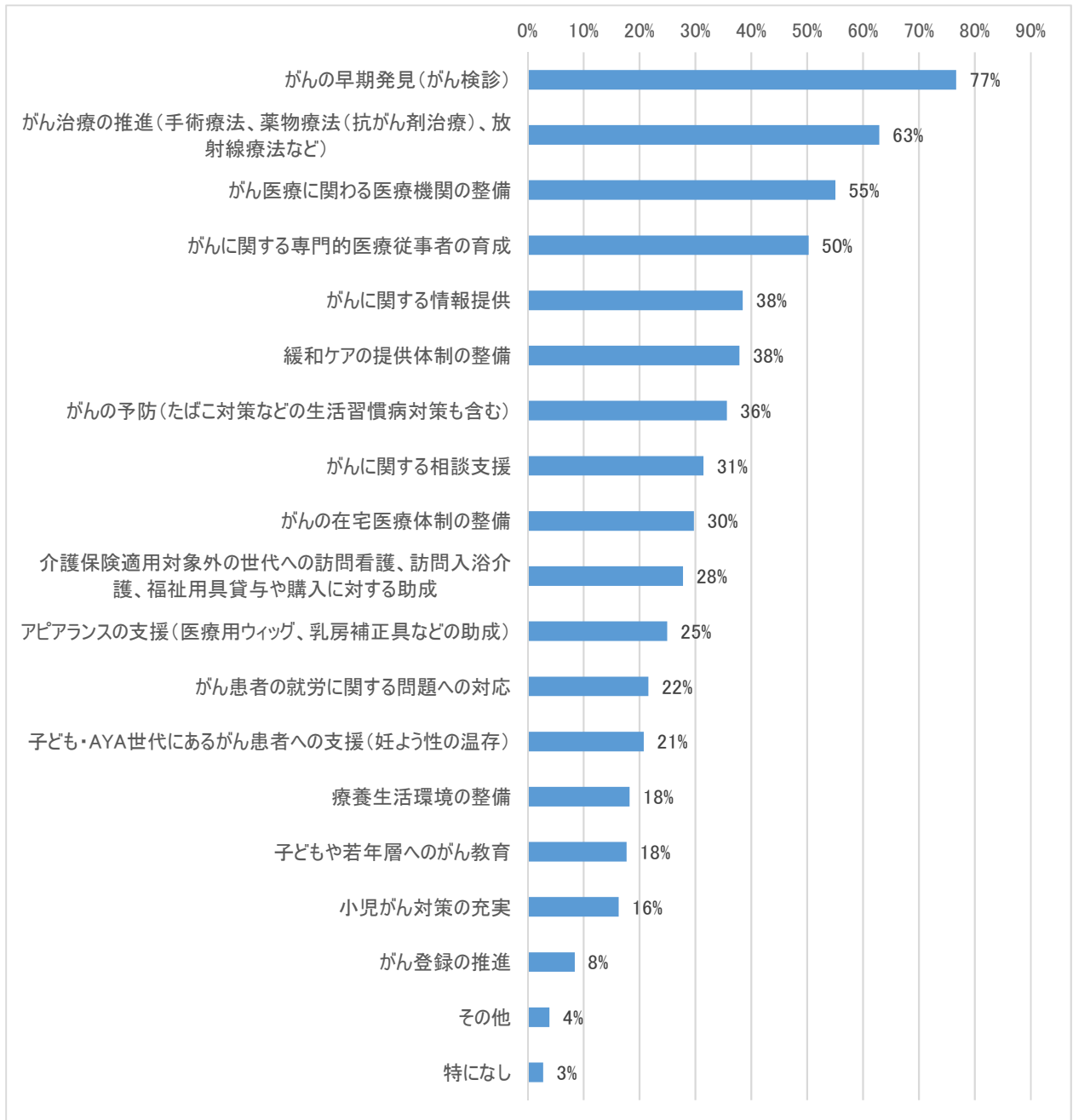


問 32-2 全国がん登録事業によって、がんに関する正確な統計が整備されると、様々なメリットが期待できますが、あなたは何に期待しますか。



● がん対策に関する県への要望について

問 33 あなたは、がん対策について、県としてどのようなことに力を入れてほしいと思いますか。





問 34 その他、県のがん対策についてのご意見

1	がん治療はお金がかかる。がん治療に関しての支払い免除制度などがあるといい。金銭支払いに関する助成制度のアドバイスや情報がほしい
2	長い間検便の他、人間ドックも続けてきましたのに、この度がんとわかりました。執刀医にどのくらい前からがんができていたかを聞いたところ、3～4年前にはできていたとの答えでした。検便だけではなく大腸検査を優先的にできるようにしてほしい。私のように手遅れの状態では遅すぎます。
3	県が何をしているのかまったくわからない
4	私は自分で気づくことができステージ0～1で手術できました。高齢なのでまさかと思っていました。若いうちから自分でできる（気が付くこと）があるので教育の中にもはや気づけることなどころがけるよう教えてほしいと思います。手術より後の治療も大変です。身体が大事とつくづく思いました。元気です。
5	がんと判明してから治療開始まで1年を要した。機械不足か。人手不足か。早く治療できることを望む。
6	がんサバイバーとして、仕事との両立が一番大変でした。また、がんといっても私のようなサバイバーと進行がんでは対策も大きく違うと思いました。県としても、小児がん、働き盛りのサバイバー、進行がんなど分野を分けて対策していただくことも良いかもしれないと思います。
7	いつもがん対策に対応いただきこころより感謝申し上げます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。
8	具体的に何をやっているのか知りませんでした。ただ、このアンケート再発で頑張っているのに終末期をどうするかという設問答えるの、考えるのがつらいです。QOLを高めようと努力しているのに思い出せられて私はがんだということをつきつけられるようで治らないといわれているようで不快でした。対策していますという自己満足でアンケート作っていませんか。患者のこと考えて対策していますか。疑問です。
9	検診でがんと診断された病院で治療が行えず、別の病院で抗がん剤治療、手術をしました。その後、放射線治療を行うといわれたのですが、その病院では行えず、放射線だけ別の病院へ行くことになりました。それぞれの病院で治療費がかかる上に同時進行のため1日で両方通院する日もあり、金銭的にも肉体的にも大変です。自分ががんになる想定をしていなかったため、何も知らずに生きてきて突然のことで知識がなかったのがいけなかったのですが、いくつかの病院に行けないことや、高額な医療費などいろいろ負担が大きいことを知っていればよかったと思うのと、知らなかった自分がいけなしいとは思いつつも、なぜ1つの病院ですむべきでは。と思いました。
10	がん対策に尽力される方々がいるおかげで心強く思っています。今後のご活躍に期待します。
11	がんの専門病院の充実。がんの早期発見率の向上に向けた対応。
12	市のがん検診で1日で婦人科系の検査ができればいいかな。最低限に乳がん、子宮がん、卵巣がん、頸がん。そうすれば、それに付随するがんの発見にも私の場合、膀胱炎と間違いなく薬だけ処方され2件目の病院でCTとったら膀胱の奥が腫れていて、婦人科系に行ったほうがよいと。
13	紹介を受けて病院に行ったのですが、総合病院だったので、外科、泌尿器科、内科等で検査を受けられました。最後はPET-CT検査で悪性リンパ腫が発見されました。病院の設備が重要だと思います。病院の高額療養費の手続きを受けられたこと。医師、看護師、薬剤師の説明が受けられストレスがたまらなかったこと。コロナウイルス対策が素晴らしかった。今も。
14	がんだけに関しては特によくわかりませんが、よりよい人生を送るためには社会教育、人間教育、それから専門教育が大切だとつくづく思う近頃です。
15	県のがん対策がだれにでも見ることができ、わかりやすい説明が必要だと思う。広報誌等では限られた人しか見ないと思う。
16	もう少し治療費、医療費を安くしてほしい
17	緩和ケア病棟やホスピスをもっと充実（増やして）ほしい。

18	年金受給額からの毎月のがん治療費で生活が困窮している。高額医療費精度を利用しても負担が大きい。年金受給額に応じた自治体の助成金制度を確立していただきたい。多くの企業では60歳以上になると健診の項目が減られる。本来多くの項目が必要となる世代であり、がんの早期発見に必要な検診を県からそれぞれの企業の健康診断の項目の査察が必要だと思われる。一人でも多くのがん罹患者を減らすためにも。
19	重粒子線治療をがん患者に情報を提供して治療方法の選択肢となるよう希望します。又治療希望者が重粒子線治療を受けやすい制度を確立してほしい。
20	私は現在休職中ですが、この間も収入が保証されています。がん治療は病院に支払うお金以外にも交通費や副作用に対する対策(ウィッグ等)のお金もかかり、生命保険をかけていてもそれ以上にお金がかかります。収入が減った方やなくなった方に対する助けが、希望する治療をあきらめずにできるくらいあると良いと思います。
21	がん治療のフローチャートを作成し、治療の流れ、費用も同時に記入。理解しやすい形とする。
22	がん専門医が不足しているように思う。また、地域病院でもがんの診断ができる医療機器を充実させてほしい。
23	現在がんになる方が確実に増加している中でも、自分になるとは思っていなかった。アンケートで支援課、対策班があることを知り、今後は前向きに協力、意見を発していきたい。
24	初診時に病院受け付けなどでパンフレットを渡してもらえると良いと思う。
25	問33はかかったステージや年齢によって考え方が大いに違うと思いました。とにかく気楽に検診が受けられるようになったら良いと考えました。
26	がん治療はとにかくお金がかかる。なってみないとわからないことがたくさんありました。経験したことのある方のお話を載せたようなものがあるとこれから治療をされる人にとってもいいと思います。
27	コロナ禍でのがん治療のリスクやそれに対する対策を考えてほしい。病気で職を失う人はどうすればいいのか。働きたくても就労できない。抗がん剤治療中であると十分な理解を得ることができない。収入は無くなるが支払いは続く。
28	県や市から何種類か健康診断などの通知が来るが、時期が少しずつずれており、どの部分の検診なのかわかり難い。また受診できる医療機関もバラバラなので、もう少しまとめてもらえると助かる。
29	失職中のため生活保護情報が欲しいです。
30	がんになると身体的にも精神的にも辛い日々が続きます。その悩みを少しでもなくす取り組みをして欲しい。いつかステージ4のがんでも治る時代が来てほしい。
31	薬や点滴など、このペースだと治療費が100万円くらいになる。人として扱い、その人に合った治療をして欲しい。
32	医療機関、医師に恵まれたと思っている。みんながそうであるように期待している。
33	不安があり手術をしない。放射線治療とホルモン治療で外来通院処置でありがたいと思いました。
34	セカンド・オピニオンがあればいいと思ったが、コロナや体調面から不可能だった。子宮頸がんと子宮体がんの区別を知らず、頸がんの検査をクリアしていたので安心してた。もっとわかりやすい情報があればいいと思う。
35	QOLを重点に置いたがん対策をして欲しい。
36	経済的に苦しい人たちへの支援、援助ができるようにしていただけるとよいと思います。
37	通院が楽にできる方法
38	子どもがまだ小さく、放射線治療の時に預かってもらうところを探すのが大変だった。大きい病院内に託児室があればとても嬉しいと思いました。
39	人間ドッグなどでは別項目での検査もあるが、もっと採血、尿検査など簡単に調べやすい制度があると良い。(半年から1年に1回は誰でも調べられるように)

40	このアンケート用紙をもらって初めて「ちばがんナビ」というサイトを知りました。患者や家族は治療のことや体調維持で日々いっぱい、落ち着いてPCなどで調べたりすることは大変です。簡単に手に取ることができるパンフレットや冊子を病院窓口や待合室、薬局窓口が目立つように置いて欲しいです。
41	がんとしての症状があっても市や会社の検診では異常が見つからなかったのがとても残念に思う。もっと早く見つかる術はなかったのか。 希少癌であるがゆえ、複数の病院をたらいまわしになり、見つかりづらく、発覚時にはステージ4 Aでどうしようもなかった。
42	会社の検診、行政の検診など毎年受けていたが、結局現在膵臓がんです。 何とも納得しがたい現状ですが、治療に取り組んでいます。
43	自分自身このアンケート項目で知らない項目が多いことが分かりました。これから先々のことと思いますが、AI活用した医療機器があればもっと正確な診断ができないでしょうか。期待したいです。
44	4人部屋入院中、私を除く3名が40~50代の方でした。家族や将来を考えると多いようでお気の毒でした。早期発見の大切さを若い方に重点的に啓発してください。皆様のご努力に感謝します。
45	自分はないと思っていました。若い方にもっと知ってほしいです。学校で教育の時間を作ってください。何事も学ぶことが大切です。次の千葉県知事に期待します。医師の育成にもっと税金を使ってください。
46	誰でも緩和ケア外来を受けられるようにしてほしい。
47	介護保険のスタートと、この事業を育成するために様々な分野へ公金が出回って、他の病気と違った進捗が整い利用者もさほど苦なく参加することができたのは政治、経済、社会の取り組み方が的を得ていたものだったと考えます。がんの征圧よりも利用、使用者にとって気楽に取り組める構造とわかりやすい場所、経費、使用方法がより積極的に宣言することが大切と思われる。
48	周知されていない。「がん」になったことがない人が考えても実感わかないのでは。
49	県が発行している広報誌等で「がん全般」についての情報をシリーズで記事にして提供してほしいです。その情報スペースを切り取りファイルに出来るようにしていただければ良いと思います。健康な時には「がん」については無知であり、他人事と考えているのです。
50	現在、放射線治療中ですが、抗がん剤の投与等で今後が心配です。パンフレット等があれば参考にしたいと思います。
51	私も妻も癌を発症しましたが完治し元気に生活しています。今後とも癌の早期発見、治療に力を入れてくれる事を希望します。
52	私の母はタバコが好き過ぎて中毒になり数年前から家族が止めても、どうにもならない状態になっていました。そして肺がんになり今年の10月に亡くなりました。要は検診を勧めれば良かったのですが、タバコを買うにも制限等つける事が出来れば良いなと思います。実現するには中々難しいと思いますが、乳がんの方ですが色々な検査はできるだけ女性スタッフを増やして欲しいです。今かかっている病院は専門の病院で先生を始め女性スタッフが多いので安心できますが、最初に行った病院は男性が多く不安でした。集団検診でも何でも女性が多ければもっと検診を受ける人が増えるのではないかと思います。現実には難しいと思いますが受ける側の切実な願いです。
53	がんに関する知識はある程度インターネットで知ることができる。医療の進歩により治療の長期化が多くなり費用面で大変である。健保における高額医療制度など手厚いと思うが、年金生活となると長期に毎月自己負担があるとやはり大変となる。県でできることは限度があると思いますが、せめて原制度で活用できるものの告知等に工夫をこらしてほしい。お金のことでの相談はなかなか難しい。しづらい。
54	これまでの取組と成果を公表していただきたい。
55	2人に1人ががんになる時代、まだまだがんに対する周知は全く足りていないと感じる。自分自身興味がなかった事もあるが、がんに実際かかるまで全く知識がなかった。せめてがん保険だけでも全ての人が入れるなら入っておくべきだと思う。精神的な負担もさる事ながら、がんはやっぱり治療にお金がかかるものだから。

56	自分が直面しないとなかなか実感がないものです。実際市の健康診断を毎年受け、他の持病の為の血液検査を定期的にしており、数値上では異常がみられず今に至りながら、たまたま思いがけない場所の癌が見つかりました。腹部のエコー強化など、もうすこし手をのばして検査を進められる体制があれば…と思いました。病状が良ければ血液や尿検査のみで安心してしまいます。ある程度の年齢以下の方々を特に検査を！
57	・「リキッドバイオプシー」の普及に力を入れてほしい。 ・「線虫がん検査」の普及に力を入れてほしい。 上記二件とも保険適用になればなお良い。がん検診は大変に手間がかかるので、多忙な方はなかなか足をはこべない。簡素な検査があたり前になってほしい。
58	バリウムより胃カメラ（胃ガン）検便より大腸カメラ（大腸ガン）血便が出てからでは遅く、早期発見の為にも充実した検査が必要と思う。
59	がんになって医療費が高額で大変です。生活が大変でコロナで収入も減り、仕事をするも体が病気の為本当に大変です。安心して治療が受けられる世の中にしてほしい。
60	毎年、市のマンモ検査をしていましたが分からず。エコー検査で見つかりました。市でもマンモ、エコーの両方で検査をすともっと発見率が上がるのでは？両方一度に出来ないであれば1年おきにするとか？
61	予約をしても、病院での待ち時間が長く、体力的につらい。
62	抗がん剤治療するケモ室や外来の待合室など毎週通うので長い待ち時間が大変です。少しでも快適に過ごしたいので Wi-Fi を完備して欲しいです。あと私は延命の為に抗がん剤をずっと続けます。頭髮も以前に戻る日は来ないと思います。誰にもバレたくない思いもありウィッグにもかなりお金をかけているので数万円でいいので補助が欲しいです。一生続く抗がん剤にお金の面で色々不安になります。
63	抗がん剤などの治療費がとても高い。もっと個人負担を減らして欲しい。治療したくても高くても出来なくなる。
64	早期発見、早期治療が死亡率を下げると思います。最近簡単な方法でがんを発見できる技術が開発されたと知りました。又効果の高い治療方法の開発が望まれます。
65	就職支援をしてもらいたい
66	病院でがん患者に対しそのように毎日を過ごすか。薬の副作用をどのようにして乗り越えるか。副作用が大きいときは薬を休んだほうがよいのか。現在副作用で薬を一週間休んでいます。
67	外来で抗がん剤治療をしています。副作用時の食事についてや日常生活で気を付ける事など、副作用対策パンフレット（マニュアル）をわかりやすいものがあると良いなと思います。
68	私は2度の乳がんがんで両側の乳房を切除しました。手術をすれば治ると思っていましたし、今も体調は良好です。設備や医師、スタッフの整った医療機関を選ぶことが重要だと思っています。
69	絶対に「私は大丈夫」という気持ちがあると思う。だから県の検診をとにかく勧めてほしい。女性、男性違うと思いますが、定期的の検診は大切であることを知って欲しい。
70	家族が判断しなくてはならない状態になり、とても難しいとき、心優しくアドバイスしてくれた主治医・担当者・看護師など沢山の方々に感謝です。
71	近隣の住所がある人用のホームページ上でのアナウンスの充実があると便利と思います。
72	がん対策班があるとは知りませんでした。これからは公報誌等いろいろ投稿される記事を見おとさない様注意して見るようにしたいと思います。
73	50年前とは変わっておりデータでわかりすごく安心です。今伺かがって居ります大学病院に通院させていただいた事、ガンになりました私には幸せです。医学的な事も大切ですが、関わる看護師の方で心がやわらぎます。今は幸せです。
74	人間ドックのオプションでPETを脳ドックをやっているのですが、PETをやっていたおかげで早期のがん発見になりました。これから色々悩む事も多くなると思います。対がん協会の医師による相談はR3年度はなくなること残念です。また、人間ドックは毎年10～16万円くらい費用がかかります。退職した今は補助が全くないので少しでも補助があるとうれしいです。まだ治療開始前のアンケートなのであまり役に立たないとは思いますが、協力させていただきました。

75	県なり市なりからの検査費用の補助が有るともう少し気軽に受けられるのではないか。
76	75歳、歩くのも儘ならない状態ですが、バスを乗り通院治療をしています。タクシー利用の助成があれば非常に助かります。
77	抗がん剤治療中、どのような症状が出るのかわからず特に夜は不安感が強かったので、24時間サポートしてもらえる医療機関があるといいです。

**拠点病院等又は協力病院を利用するがん患者**

**「千葉県がん対策に関するアンケート」**

本調査は、第3期千葉県がん対策推進計画の中間評価に当たり、千葉県が進めているがん対策について、主に県内のがん患者等の方を対象に率直なご意見を伺うことを目的に行います。

ご回答いただいた調査票は、計画の評価や個別目標の見直し等、今後のがん対策の方向性を検討していくための貴重な資料として有効に活用させていただきます、他の目的には使用いたしません。また、本調査の結果を公表する場合は、個人が特定できるような形で外部に公表されることは一切ございません。

ぜひご協力いただけますようお願い申し上げます。

なお、本調査にご協力いただけなくても、治療上の不利益を被ることは一切ありませんので、申し添えます。

《ご記入上のお願い》

●お名前や詳細な住所を記入する必要はありません。

●お答えは、当てはまるものの番号に○をつけるか、[ ] に記入してください。

本調査についてのお問合せ先 千葉県健康づくり支援課 がん対策班  
 電話：043(223)2686・2402 FAX：043(225)0322  
 E-mail: cantaisaku2@mz.pref.chiba.lg.jp

**●記入者について**

問 1-1 このアンケートの記入者はどなたですか。次の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. 患者本人 2. 家族 3. その他 [ ]

問 1-2 問 1-1 で「家族」と答えた方に質問します。

ご家族が回答される理由を次の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。また、4 の場合は、[ ] の中に具体的な内容をご記入ください。

1. 本人の体調がよくないため 2. 体調不良ではないが、高齢なため  
 3. 亡くなっているため 4. その他 [ ]

**●患者さんについて**

問 2 患者さんの現在の年齢を教えてください。次の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. 20歳未満 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳  
 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70～79歳 8. 80歳以上

問 3 患者さんの性別について、次のうちのいずれかに○をつけてください。

1. 男性 2. 女性 3. その他

問 4 現在のお住まいの市町村名をご記入ください。

\_\_\_\_\_ (市・町・村)

問 5-1 (このアンケートを受け取った) 医療機関のかかり方について、次の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。また、3 の場合は、[ ] の中に具体的な内容をご記入ください。

1. 外来通院中 2. 入院中 3. その他 [ ]

問 5-2 問 5-1 で「外来通院中」と答えた方に質問します。

現在のがん治療はどのような状況ですか。次の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。また、5 の場合は、[ ] の中に具体的な内容をご記入ください。

1. がん治療を継続中 2. 緩和ケアを中心とした医療  
 3. 治療が終わり経過観察や定期検査のみ 4. がん治療開始前  
 5. その他 [ ]

問 5-3 問 5-1 で「入院中」と答えた方に質問します。

現在のがんの治療はどのような状況ですか。次の中から1つだけ○をつけてください。また、3 の場合は、[ ] の中に具体的な内容をご記入ください。

1. がん治療を継続中 2. 緩和ケアを中心とした医療  
 3. その他 [ ]

問 6 最初にがんと診断された年齢をご記入ください。

\_\_\_\_\_ 歳

問 7 最初に診断されたがんの種類について、次の中から当てはまるものにくつでも○をつけてください(再発、転移を除く)。また、15 の場合は、[ ] の中に具体的な内容をご記入ください。

1. 咽頭がん・喉頭がん 2. 肺がん 3. 食道がん 4. 胃がん  
 5. 肝臓がん 6. 膵臓がん 7. 乳がん 8. 子宮がん  
 9. 卵巣がん 10. 膀胱がん 11. 前立腺がん 12. 大腸がん  
 13. 白血病 14. 悪性リンパ腫 15. その他 [ ]

問 8 最初に診断されたがんは、どのような状況で発見されましたか。次の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。また、4 の場合は、[ ] の中に具体的な内容をご記入ください。

1. がん検診・健康診断・人間ドックの受診がきっかけで見つかった
2. 自覚症状があり、病院受診で見つかった
3. 他の病気の治療中に見つかった
4. その他 [ ]

問9 これまでに受けた治療について、次の中から当てはまるものはいくつでも○をつけてください。また、4の場合は、[ ]の中に具体的内容をご記入ください。

1. 手術（外科治療、内視鏡・胸腔鏡・腹腔鏡手術を含む）
2. 薬物療法（抗がん剤治療、ホルモン療法、分子標的治療を含む）
3. 放射線療法
4. その他 [ ]

●医療提供体制について

問10 がん治療を受けるにあたって、医療関係者から病気や治療について説明を受けましたか。次の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. 説明を受けて、理解できた
2. 説明を受けたが、理解できなかった
3. はっきりとした（十分な）説明を受けた記憶がない
4. 説明を受けた記憶がない

問11 あなたは、がん治療にあたって「セカンド・オピニオン」(※)について、どのよう  
に説明されましたか。次の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. セカンド・オピニオンを受けることを積極的に勧められた
2. セカンド・オピニオンを受ける方法もあることを説明された
3. 特に説明されなかった
4. わからない・覚えていない

※ セカンド・オピニオンとは

よりよい決定をするために、もう一人の  
人から聴取する意見。医療の分野では、  
一人の医師の意見だけを聞いて決めてし  
まわずに、別の医師の意見も聞いて患者  
が治療法などを決めることを指す。

問12 あなたは、がん治療にあたって「セカンド・オピニオン」が必要だと思いますか。  
次の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. 必要だと思う
2. どちらかと言えば、必要だと思う
3. どちらかと言えば、必要ではない
4. 必要ではない
5. わからない

問13 治療が一段落して定期的な検査のための通院となった時、あなたは次のどこに  
かかりたいですか。次の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. がん診療連携拠点病院 (※) を含む、がんの  
専門病院に通う
2. 最初にごんと診断された病院（上記1以外の  
病院）に引き続き通う
3. 自宅の近くに同じ検査を受けられる病院や  
かかりつけ医があればそこに通う
4. わからない

※ がん診療連携拠点病院とは

どこの地域に住んでいても  
同程度の医療が受けられる  
よう、がん医療水準の向上と  
地域格差の解消を目的として、  
国が一定の要件を満たす医療  
機関を「がん診療連携拠点  
病院」として指定したものだ。  
我が国に多いがん（肺がん、  
胃がん、大腸がん、肝がん、乳  
がん）に対応。

●緩和ケアについて

問14 緩和ケア (※) について、あなたにとって当てはまるものはどれですか。次の中  
から当てはまるものはいくつでも○をつけてください。

1. 緩和ケアの意味を十分知っていた
2. 痛みなどの身体症状のみを対象とと思っていた
3. 終末期の患者だけを対象とと思っていた
4. 治療と並行するものではなく、単独で行われるもの（他の治療と合わせて  
受けられないもの）と知っていた
5. 病院、緩和ケア病棟などの限られた場所で行われたいと思っていた
6. よくわからないが、聞いたことがある
7. 知らなかった

※ 緩和ケアとは

生命を脅かす疾患に伴う痛みをはじめとする身体の不らさ、気持ちのつらさ、  
生きている意味や価値についての疑問、療養場所や医療費のことなど、患者や  
家族が直面するさまざまな問題に対し援助することによって、クオリティ・  
オブ・ライフ (QOL: 生活の質) を改善するアプローチ。  
病気の時期や治療の場所を問わず、いつでもどこでも提供される必要がある  
とされている。

問15-1 あなた（患者さん）は、がんの緩和ケアを受けたことがありますか。次のうち  
のいずれかに○をつけてください。

1. ある
2. ない
3. わからない

問15-2 問15-1で「ある」と答えた方に質問します。  
提供された緩和ケアは満足いくものですか。次の中から当てはまるものに1つ  
だけ○をつけてください。



1. 満足
2. どちらかと言えば満足
3. どちらかと言えば不満足
4. 不満足

●在宅医療について

問 16 がんに対する積極的な治療を行わず症状緩和に専念する場合、どこで過ごしたいと思いますか。次の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。また、10の場合は、[ ]の中に具体的内容をご記入ください。

1. なるべく早く今くまで通った（又は現在入院中の）医療機関に入院したい
2. なるべく早く緩和ケア病棟（※）に入院したい
3. なるべく早くホスピス（※）に入院したい
4. 自宅で療養して、必要に応じて今まで通った（又は現在入院中の）医療機関に入院したい
5. 自宅で療養して、必要に応じて緩和ケア病棟に入院したい
6. 自宅で療養して、必要に応じてホスピスに入院したい
7. 自宅で最期まで療養したい
8. 老人ホーム、介護付き施設に入所したい
9. わからない
10. その他 [ ]

※ 緩和ケア病棟とホスピスとは

緩和ケア病棟もホスピスも、がん患者さんを主な対象とし、体と心の苦痛緩和のための治療とケアを行う病棟です。  
緩和ケア病棟は、つらさをコントロールして、できる限り普段通りに生活することを主な目標としています。  
一方、ホスピスは最期まで希望通りに生きることを主な目標としています。

問 17 不快な症状や痛みが自宅（施設）においても緩和できるとしたら、どこで最期を迎えたいと思いますか。次の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. 病院（緩和ケア病棟以外）
2. 緩和ケア病棟
3. ホスピス
4. 自宅
5. 介護付き施設（老人ホームなど）
6. その他
7. わからない

問 18 ご自宅で過ごすことを想定した場合、どのサービスの充実を望みますか。次の中から当てはまるものにくつでも○をつけてください。また、6の場合は、[ ]の中に具体的内容をご記入ください。

1. 24時間365日体制で往診や訪問看護を行う医療機関
2. 緊急時入院できる病院
3. 訪問してくれる看護師
4. 家事・介護を頼めるヘルパー
5. 地域のボランティア（患者会、家族会、NPO等）
6. その他 [ ]

●相談支援・情報提供について

問 19 がんの診断や治療を通して、どのようなことについて悩みましたか。次の中から当てはまるものにくつでも○をつけてください。また、9の場合は、[ ]の中に具体的内容をご記入ください。

1. 死への恐れ、孤独感など精神的なこと
2. 痛み、副作用、後遺症などの身体的なこと
3. 夫婦間、子どもとの関係などの家庭・家族のこと
4. 仕事、地位、人間関係などの社会とのかかわり
5. 手術、抗がん剤など治療のこと
6. 治療を受ける医療機関のこと
7. 収入、治療費、将来への蓄えなどの経済的なこと
8. これからの生き方、生きる意味などに関すること
9. その他 [ ]

問 20 がんの治療の副作用として経験した外見の変化として、どのようなものについて悩みましたか。次の中から当てはまるものにくつでも○をつけてください。また、11の場合は、[ ]の中に具体的内容をご記入ください。

1. 頭髮の脱毛
2. 眉やまつ毛の脱毛
3. 爪の変色、変形
4. 放射線による皮膚炎
5. 色素沈着（シミ、くすみ）
6. 顔のむくみ
7. 手足のむくみ
8. 乳房など体の一部欠損
9. ストーマやドレーンの装着
10. 特になかった
11. その他 [ ]



問 21-1 がん診療連携拠点病院等に設置されているがん相談支援センター（※）を利用したことはありますか。次の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. 利用したことがある
2. 利用したことはないが、知っている
3. 知らなかった

※ がん相談支援センターとは

がん医療に関する相談、セカンド・オピニオンを受けられる医師の紹介、がん検診に関する情報発信や相談、就労や療養生活に関することなど、がんについての様々な相談を受ける窓口です。

問 21-2 問 21-1 で「利用したことがある」と答えた方に質問します。

この「がん相談支援センター」の取組が患者への相談支援・情報提供に役立っていると思いますか。次の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. 役立っている
2. ある程度役立っている
3. あまり役立っていない
4. 役立っていない
5. わからない

問 22 あなたは、どのようなところからがんに関する情報を得ていますか。次の中から当てはまるものにいくつでも○をつけてください。また、13 の場合は、[ ] の中に具体的な内容をご記入ください。

1. 病院の医師・看護師
2. 近隣のかかりつけ医
3. 家族など身内
4. がん相談支援センターの相談員等
5. 同じようながんを経験した先輩や仲間
6. 友人
7. 新聞
8. 雑誌（専門誌を含む）
9. 書籍
10. (病院内などの)ポスター、パンフレット
11. テレビ・ラジオ番組
12. インターネット
13. その他 [ ]

問 23 がん専用サイト 千葉県がん情報「ちばがんナビ」では、がんに関する知識や県内の医療機関、不安や悩みを相談できる身近な窓口、各種の支援制度などを紹介しています。あなたは、「ちばがんナビ」を知っていますか。次の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。

(ちばがんナビ <https://www.pref.chiba.lg.jp/pbgnv/>)

1. 知っている。利用している
2. 知っている。見たことがある
3. 知っている
4. 知らない

●就労について

問 24 最初にがんと診断された時に、収入のある仕事をしていますか。

1. していた 一問 25 にお進みください
2. していない
3. わからない・覚えていない 一問 29 にお進みください

問 25 あなたの診断時の職業は何でしたか。次の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。また、8 の場合は、[ ] の中に具体的な内容を記載してください。

1. 自営業 (家族従業員)
2. 会社正規社員
3. 会社役員
4. 公務員
5. 派遣・契約・嘱託職員
6. パート・アルバイト
7. 内職
8. その他 [ ]

問 26 現在、診断時の職場との関係はどのようになっていますか。次の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。また、8 の場合は、[ ] の中に具体的な内容を記載してください。

1. 現在も同じ職場で勤務中、同じ仕事を継続中
2. 診断時と別の部署に異動した
3. 休職 (休業) 中
4. 依願退職した
5. 解雇された
6. 廃業した
7. 定年退職した
8. その他 [ ]

問 27 診断時の仕事を継続することに対する事業主の理解・支援は得られましたか。次の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。また、7 の場合は、[ ] の中に具体的な内容を記載してください。

1. 十分得られた
2. ある程度得られた
3. 得られなかった
4. 理解は得られたが、支援は必要なかった
5. 自営業、経営者である
6. 理解は必要なかった
7. その他 [ ]

問 28 治療と仕事の両立など、就労に関してどこに相談しましたか。次の中から当てはまるものにいくつでも○をしてください。また 10 の場合は、[ ] の中に具体的な内容をご記入ください。

1. 医療機関 (主治医)
2. がん相談支援センター (がん診療連携拠点病院内設置)
3. 就労中の事業所 (人事担当)
4. 就労中の事業所 (直属の上司)
5. 社会保険労務士
6. 産業医
7. 産業保険総合支援センター・地域産業保健センター
8. がん患者団体・がん患者支援団体
9. 相談しなかった
10. その他 [ ]

●がん検診について

問 29 がん検診は、がんの早期発見、早期治療につながる重要な検査だと思いますか。次の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. そう思う    2. どちらかと言えば、そう思う    3. どちらかと言えば、そう思わない    4. そう思わない    5. わからない

問 30 がん検診を受診する際、どのようなサービスやシステムがあれば受けやすいですか。次の中から当てはまるものにいくつでも○をつけてください。また、9の場合は、[ ]の中に具体的内容をご記入ください。

1. 個別に検診の通知が届く
2. 土日・祝日等に受けられる
3. 早期や夜間に受けられる
4. 集団検診（指定された日時と場所で検診車などを利用して集団で行う検診）が受けられる
5. 医療機関で個別検診が受けられる
6. 同日に複数の検診（特定健診（※）とがん検診など）が受けられる
7. 無料で検診が受けられる
8. インターネットで申し込みができる
9. その他 [ ]

※ 特定健診とは  
日本人の死亡原因の約6割を占める生活習慣病の予防のために、40歳から74歳までの方を対象に、メタボリックシンドロームに着目して行う健診のこと。  
(メタボ健診と呼ばれることもある。)

●がん登録について

問 32-1 日本でがんが診断されたすべての人のデータを、国で1つにまとめて集計・分析・管理する「全国がん登録事業」が平成28年1月から始まりましたが、あなたは、このような取組をご存知ですか。次の中から当てはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. 知っている    2. ある程度知っている    3. あまり知らない  
4. 知らない

問 32-2 全国がん登録事業によって、がんに関する正確な統計が整備されると、様々なメリットが期待できますが、あなたは何に期待しますか。次の中から当てはまるものにいくつでも○をつけてください。また、5の場合は、[ ]の中に具体的内容を記入ください。

1. 正確なデータに基づき、がんの早期発見に向けた対策を行えるようになること
2. 大学などの学術機関や民間企業の研究者が研究に利用し、がんの予防法や治療法の開発に役立てること
3. 一般の人が日本のがんの状況について情報を得ることができるようになること
4. 全国どこにいても標準的な専門医療が受けられるよう、がんの医療提供体制を評価・検討できること
5. その他 [ ]

問 31 県では、がん検診の受診率向上を目指して様々な取組を行っていますが、次の中からあなたが知っているものにいくつでも○をつけてください。

また、この他、受診率向上のために効果的と思われる取組がありましたら [ ] 内にご記入ください。

1. がん予防展・がん講演会
  2. ピンクリボンキャンペーン
  3. 薬局での触診模型を使った乳がん自己触診の啓発
  4. 県ホームページでのがん検診に関する情報の提供
  5. 知っているものはない
- この他、受診率向上のため効果的と思われる取組がありましたらご記入ください。  
[ ]

●がん対策に関する県への要望について

問 33 あなたは、がん対策について、県としてどのようなことに力を入れてほしいと思いますか。次の中から当てはまるものはいくつでも○をつけてください。また、19の場合は、[ ]の中に具体的内容をご記入ください。

1. がんの予防（たばこ対策などの生活習慣病対策も含む）
2. がんの早期発見（がん検診）
3. がんに関する専門的医療従事者の育成
4. がん医療に関わる医療機関の整備
5. がんに関する情報提供
6. がんに関する相談支援
7. がん治療の推進（手術療法、薬物療法（抗がん剤治療）、放射線療法など）
8. 緩和ケアの提供体制の整備
9. がん登録の推進
10. がんの在宅医療体制の整備
11. 子どもや若年層へのがん教育
12. 小児がん対策の充実
13. 療養生活環境の整備
14. がん患者の就労に関する問題への対応
15. アピアランスの支援（医療用ウィッグ、乳房補整具などに対する助成）
16. 子ども・AYA世代（※1）にあるがん患者への支援（妊よう性の温存（※2））
17. 介護保険適用対象外の世代への訪問介護、訪問入浴介護、福祉用具貸与や購入に対する助成
18. 特になし
19. その他 [ ]

※1 AYA世代とは

Adolescent and Young Adult（思春期や若年成人）の略で、一般的に15歳から39歳までの年齢層を指す。

※2 妊よう性の温存とは

妊よう性とは妊娠するための力のこと。がんの治療により生殖機能が弱くなることがあることから、治療開始前に卵子や精子、受精卵などを採取・凍結保存して、将来に自分の子どもを育てる可能性を残します。

問 34 その他、県のがん対策についてのご意見など、自由にご記入ください。



ご協力いただきありがとうございました